

# まつのま 775

本報

No 59



発行所 松之山町 印刷所 松之山町 印刷局 印刷所 沢田印刷局

## ことしは よろしく

「今年も大の秋白」という返事  
業の一回に定着した。

苗の大きさは三割位、仮植には  
驚き倍々。



松之山駐在所  
斎藤部長さん



松之山小  
山岸校長さん



浦田小  
佐藤校長さん



東川小  
野本校長さん



坪野小  
大塚校長さん



浦田中  
加藤校長さん

私たちがほか22名新しくお世話になります

三大目標

生活関連の基盤整備  
産業の振興

自休管理センターの建設

私たちにとって一番身近かで、誰もが関心の深い町政……。3月の町議会定例会で、昭和52年度予算が決まりました。今年の町予算はどれくらいで、どんな仕事を計画してあるのでしょうか。

国内の経済情勢もかつての高度成長型から安定成長型へと衣がえした今日、これが及ぼす町の「ふところ具合」も当然のように苦しく、予算編成には苦労しました。

そんな中で、先に補正した総合計画によるいろいろな要望を消化するため、極力財源の確保につとめ事業の計画をたてました。

予算の概要をご紹介しますので、みなさんのご協力をお願いします。



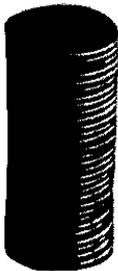
自己財源 僅か 14.2% ... しかし

借金 1人当り3万077

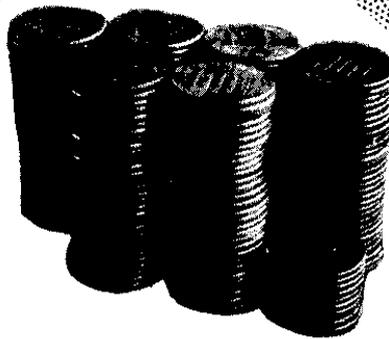
総額十三億二、九二五万円の  
は味中の



分担金  
及び負担金  
3,134万円  
2.4%



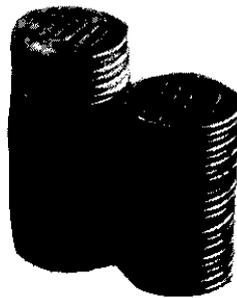
その他  
1億798万円  
8.1%



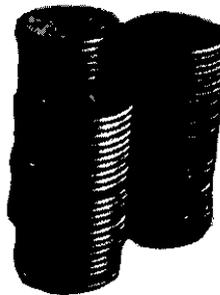
地方交付税 6億1,610万円  
46.3%



町税  
7,048万円  
5.3%



町債 1億7,500万円  
13.2%



国・県支出金  
3億2,835万円  
24.7%

- 180 -

昭和五十二年年度の一般会計予算は、総額十三億二千九百二十五万円で、昨年度の当初予算に比べ六千九百二十五万円、伸び率にして五・五%の増となりました。

今年、次の三つに重点を置き、より町政がすすみます。

①生活関連の基盤整備。②産業の振興。③自然休養村管理センターの建設。

借金は昨年比11%の減  
町税23%の伸び

まず歳入についてみますと、町税が七千四十八万円で、二三%の伸びを期待しました。

又歳入の四六%を占める地方交付税については、六億千六百万円、十一%増とかなり固い見積りをしました。

一方、国、県支出金への依存割合も地方交付税を含めて八五・八%となっており、三割自治にほど遠い「国・県依存型」の町であることは、変わっておりません。そんな中で、特に昨年度と比べ目立つのは町債が十一%減となったことです。

そのほか、分担金などについても、それぞれ昨年度の実績に基づいて計上しました。

道路整備に一億円

生活関連の基盤整備



浦田小  
上野教頭さん



東川小  
柳沢教頭さん



三省小  
棚橋教頭さん

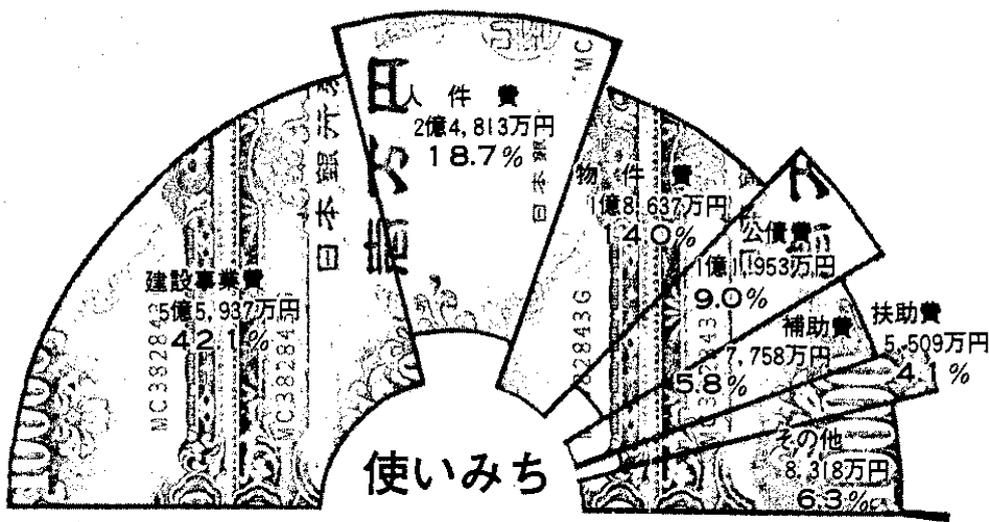


松之山中  
高橋教頭さん



# 建設事業に5億5,937万円…

1人当たり 23万3,776円の歳出



「魅力ある町づくり」を推進するため、生活の基盤となる町道の整備に約一億六百万円を計上。主な事業として免口、大荒戸の各舗装。黒倉・小谷・湯本の各地内、それに樋田と崩田の間をそれぞれ改良します。

また、これとは別に冬期間の道路を確保するため湿地プルを布川地区に配備する予定です。松里地域の簡易水道事業は、今秋、消火栓の設備とあわせて完成させることになっています。交通対策では、上鯉池に防雪棚を三基設置するほか、案内標識、カーブミラーをそれぞれ増設します。

そのほか、護美(ごみ)の収集なども引き続き推進し、生活関連の基盤を整備します。

**豊かな大地に質的向上を**  
産業の振興と発展

総合計画の主眼である「産業の振興」は予算の三分の一を占め、昨年比三七%の伸びを示す農林業費。「米プラス」がテーマ。それにはまず、主産業である米作基盤の整備が急務といえます。

圃場の整備事業として、昨年に引きつづき藤倉地区で施工するほか、川手地区でも初年度分として五・九ヘクタール着手します。この二地区で、七千万円の子算を計上しました。

「魅力ある町づくり」を推進するため、生活の基盤となる町道の整備に約一億六百万円を計上。主な事業として免口、大荒戸の各舗装。黒倉・小谷・湯本の各地内、それに樋田と崩田の間をそれぞれ改良します。

また、これとは別に冬期間の道路を確保するため湿地プルを布川地区に配備する予定です。松里地域の簡易水道事業は、今秋、消火栓の設備とあわせて完成させることになっています。交通対策では、上鯉池に防雪棚を三基設置するほか、案内標識、カーブミラーをそれぞれ増設します。

そのほか、護美(ごみ)の収集なども引き続き推進し、生活関連の基盤を整備します。

**豊かな大地に質的向上を**  
産業の振興と発展

総合計画の主眼である「産業の振興」は予算の三分の一を占め、昨年比三七%の伸びを示す農林業費。「米プラス」がテーマ。それにはまず、主産業である米作基盤の整備が急務といえます。

圃場の整備事業として、昨年に引きつづき藤倉地区で施工するほか、川手地区でも初年度分として五・九ヘクタール着手します。この二地区で、七千万円の子算を計上しました。

これに加え、町単の基盤整備事業に農道を含め、四百六十万円を計上しました。

そのほか、天水越に海排事業の調査、湯之島に老朽ため池の補修事業を実施します。

町内一農協の実現に努力し、松之山農協に完成した山菜加工場も本格的に店開きすることを機会に観光農業へ一歩ふみ出すことになりました。

また、今年の新規事業の中で少しでも冷害を克服出来るよう耕土培養資材(ケイカル)を十アール当り七袋以上投入した場合、二十%の補助金を支払うことになりました。

一方、農作物の全般に言える

ことですが、遠地運作を更に推進しなければなりません。

そこで、稲の品種特性などを比較するため松代農改普及事務所、町内各農協それに町の三者が合同で、松之山周辺と田麦立周辺の二ヶ所に試験圃場を設けることになりました。

ここでは、十二品種(農林一号・南栄・ヨネシロ・北陸99号・新潟2号・シモキタ・フジミノ・リ・トドロキ早生・レイメイ・コシヒカリ・コガネモチ・新潟モチ5号)を栽培し、いろいろ調査を行います。

この調査の動向によっては、好結果が期待できるとして、今から各方面で注目を集めています。

す。

共済の面では、一kg当り二十七十円に補償額を上げました。

林業では、まず林道天水越線を舗装し、東山線・菱ヶ岳線もそれぞれ継続して行います。

また緑ゆたかな町づくりをするため、東山・坪野・水梨の団地造林区にそれぞれ下刈りなど保育事業を実施します。

遊休ポイ山を有効に活用して所得の向上を図ります。

第二次林業構造改善事業で鼻毛に植林するための現地調査、天水越に第二団地造林を行います。そこから出た雑木で木炭を生産する組合へ補助金を出してその育成をします。

その他、林道などで環境の破壊を防ぐため、緑化種子の吹きつけを計画しました。

一方、商工業の振興では、その育成資金として融資を行うほか、その直接指導機関である町商工会に対し、百四十万円の援助を行います。

企業の誘致については、きびしい経済情勢の中で困難な問題も多くありますが、今後さらに努力して若い人が多く残れるよう努めたいと考えます。

また観光事業としては、公衆浴場の屋根修理、要望の多かった共同便所の新築、牧場に美化をとりもどすためゴミ焼却炉を設置します。また、六百五十万

円で、牧場へ電気を導入します。交通体系の整備を前提に観光事業の充実を願って、協会へ三百五十万円の補助をします。

**休養村事業のかなめ**  
センターは今秋完成

一般会計予算の目玉、自然休養村センター新築事業。総工費一億四千二百四十万円で今秋完成します。場所は忠魂山の下で、二階建、延べ面積は九二二㎡。

この中には、二〇〇人収容の大ホール始め、大小合わせて十五の研修室などが入ることになっています。

# 特別会計



消火の術なし国保は火たるま

総額三億四千二百万円、伸び率二六・八%。歳入のうち国保税が二五%を占め、一部負担金が一五%、それぞれ占めることになりました。

老人医療の無料化が実施になって以来、国保税は郡内でも上位、医療費においては、県下の十指に入る、自慢出来ない現状です。

一般会計から一千万円、基金積立てから五百万円それぞれ繰り入れるなど九死に一生を得る思いで編成しました。

このような台所事情の中で、給付については意をそそぎました。いままで育児手当金として三千円給付していましたが、こ



待ちどおしい松里簡水

松里地区簡水道は、昨年から工事に入っていました。今年一億四千二百八十八万円を計上、

の手当に替えて助産費を充実するため六万円(四万円)に引き上げました。

葬祭費については、据置きましたが健全なる台所事情になるよう努めますので、一層のご協力をお願いします。



補償額kg当り二百七十円に

総額二億二千四百二十万円で今年の秋に完成させる予定です。財源は、国の補助金が八千九百六十八万円、借入金(町債)が一億三千四百四十万円などとなっています。

ちなみに給水人口は九百人、一日の最大給水量は、百九十二立方メートルの見込みです。

また、この台所もほかと同じく苦しいため、使用料を若干値上げせざるを得なくなり、四月一日から実施させていただきました。

水も限られた資源の一つです。大切に使いましょう。

# 52年度の

## 町予算をみて



小谷

若井 千代松さん

### その他 な仕事を

- 役場車庫移築工事 消防自動車第2次林構事業で、車庫を移築して倉庫兼用にする。200万円
- 克雷センター駐車場舗装工事 (浦田) 200万円
- 基礎集落防雪体制整備事業 東川地内に予定しなりました。事情により見送り。3,207万円
- 松之山保育所増築工事 保育室が狭いので増築します。380万円
- 郡特養老人ホーム「ほくら」(大島村大平)に「ほくら」(特別養護老人ホーム)を新築する町の負担金。140万円
- 県営農道整備事業 負担金50万円
- 町営農道整備事業 負担金50万円
- 一般農道東山線整備事業 赤倉から東山へ改良し、改良済の220mを舗装。2,055万円
- 県単農道整備事業 長さ800mの農道を新設します。(東川) 2,080万円
- 県営事業負担金 公共土木事業の町負担金で1,417万円
- 直営道路改良事業 町有のブルなどで、町が直接工事する事業です。605万円
- 町道取付道路改良工事 (月池他) 100万円
- 防火水予新設事業 (北浦田地内) 435万円
- 消防ポンプ購入事業 湯本(上湯)に購入し、87万円
- 東川小教員住宅新築事業 町道改良により移転し、新築します。(東川) 1,033万円
- 浦田小米飯給食施設 9月か米週2回、米飯給食をその実施する予定でその設備費75万円
- 松之山中学校々々舎修繕工事 本校舎屋上のヒサシを修繕する工事費です。350万円
- スクールバス購入 学校間の交流、水泳教室などの他、浦田小の旧中山分校区の子童通学バスです。

ズバリ言って「こまかに気を配った苦心の結晶」と言うことができると思う。三割自治と言われているが、情けないことに、わが町の自主財源は、一割自治にも満たない。このことが予算編成に当って町長さんがその独自性を十分発揮できない最大原因となっている。

町税は対前年比で若干伸びてはいるが、別にこれは町民の担税力が増加したわけではない。

住民の負担を増やさずに、しかも自主財源の増加を図るには種々の方策が考えられる。今こそこの方策の発掘と探究に真剣に取り組みべきではなからうか。

起債は前年よりも少々減っているが、スタグフレーション(不況下の物価高)下の今日においては、起債を出来るだけやって、町民の要望に添うことが長い目でみて得策と思うが、どんなものだろうか。

社会が多様化し、国・県の委託事務も増える一方だとは言うものの人口激減の現状、からみて、少数精鋭の考え方が提起されるような気がする。これに関連することだが、二年後の改選を控えて議員の定数がどこまで削減されるか町民がひとしく注目していることであろう。

普通建設費に全予算の四二・一%も充当したことには、双手を挙げて敬意を表したい。予算編成第二年度に当り、町長さんがその配分に頭を痛めたのはこれだと思いが、公約と理想の追及に日夜精進しておられる姿が目に見えてくる。

町の人口は止るところを知らず減少の一途ををたどっているが、米の売り上げ高より、出稼ぎ収入のほうが多いという、わが町の特長性。その出稼ぎ者も年々減少しているだけに、若い人が続かないのだから当然のことながら、その年令も老令化している。

昭和六十年を最終年次とした町の総合計画も出来たそうだが明るい見通しを聞かせて欲しいと念願しているのは、私一人ではないと思う。

数百七十戸、頭数で四百六十頭、一頭当りの平均共済金は、二十三万円を見込みました。

そのほか、動力防除機の半額補助・畜舎の消費など、昨年に続いていろいろ関連事業を計画しました。なお、細目書などを綴っていただくファイルを配布しましたので、活用して下さい。



### 産婦人科の先生!! ヤーイ

婦人会などから要望が強い産婦人科を担当する医師の確保。切なる要望にもかかわらず診療体制を充実する事が困難な現状であり、二人の先生を大黒柱に松之山(診)一億七千万円弱。浦田(診)三千二百八十二万円。それぞれ、八・一%の伸び具合。幸い受診者も定着し、今のところ、ほぼ安定した運営を続ける事ができると思います。

みなさんの健康維持を最優先に掲げ、経費の節減を図りながら運営していきます。





# 松之山町民歌

春の唄

春はひと足 おくれそ  
ぶなの芽ふきが 雪に映え  
よるこびの色 山に満ち  
あ、美しきわが里よ

(一) 春はひと足 おくれそ  
ぶなの芽ふきが 雪に映え  
よるこびの色 山に満ち  
あ、美しきわが里よ

(二) 夏はひと声 青田の水面に  
みのりを呼んで 山に  
あ、美しきわが里よ

# 賛歌 松之山の四季

春の 白  
夏  
秋  
冬  
の  
る  
い  
こと  
あ  
の

奨学金貸与条例できる

# 人材育成<sup>月</sup>額20,000円

## 議 会 3 月 定 例 会 で

町議会の三月定例会は十日から、連日議員の傍聴者が聞き入る中で、総計十三億円台を突破した一般会計予算ははじめ二十三

件を決め、十二日午後四時五十分には三日間の幕を閉じました。予算関係を除く主な決定事項と、その内容は次のとおりです。

▲議員の報酬など引上げ(抜粋)  
議長(月額) 八万一千円  
副議長 六万六千円  
常任委員長 六万二千元  
議員 五万八千元  
農業委員会委員長(年額) 八万五千元

▲災害弔慰金の引上げ  
主に世帯主の場合に一千五百万円。その他の者は七百五十万円、それぞれ災害により死亡された場合支給になります。

▲農業共済から無事故の人へ  
過去二年間において、共済の補償金をもらわなかった人などに対し、今年度分の掛金から支払い相当額を差引いて納付していただきます。

▲共済の評価員を選出  
山岸長佐久さん(新山・朝日屋)  
竹内平八郎さん(湯之島・峰)  
佐藤 利幸さん(天水越・下落合)  
郷山 正堅さん(藤原・大下)  
樋口 真一さん(湯山・与せん)  
小口 信栄さん(佐七)  
大見 経次さん(下鰯池・いり)  
本山 勉さん(北浦田・鉄京)  
竹内 清さん(坂中・親家)  
佐藤 喜一さん(天水越・林)

同 代理 七万二千元  
同 委員 六万五千元  
教育委員会委員長(年額) 八万五千元  
同 委員 六万五千元  
保安要員(月額) 七万円

▲奨学金の貸付け条例を新設  
新規事業の一つで、優秀な人材を町に残したいという趣旨の条例です。  
松之山高校を卒業し、上級学校へ進学した人で、成績がよくしかも心身ともに健全であり、学資が困難な人。

▲農業共済事業で事務費を  
今年度、共済事業を行うため事務費を次の要領で徴収させていただきます。

水稲10アール当り 六〇円  
蚕繭一箱当り 五〇円

▲町三役などの給与改訂  
町長(月額)三十一万四千円  
助役 二十五万円  
収入役 二十三万七千元  
教育長 二十一万七千元

▲基盤整備事業などの負担金が決まりました。  
圃場整備(田)10アール当り  
藤倉地区十一万四、三九二円  
同右 (同右)  
川手地区 二万三、九四九円  
老朽溜池(同右)  
湯之島地区一万四、八八七円

▲農道開設(東川地区)  
田 十二万四、七四〇円  
畑 六万二、三七七円

▲職員の旅費に関する条例  
従来の条文を全部改正し、交通網が整備されつつある今日に、適合するよう改正。

▲消防団員手当て引上げ  
団長以下一般団員の報酬は、平均一・九%の引上げです。

### 一般質問

## 過疎防止に 協力な手だてを

定例会の二日目、八議員がそれぞれ当面する町政などについて、町長の考えを質問しました。そのうち、一部の要旨は次のとおりです。

質問 過疎防止に若年者の町内定着を推進するため、工場誘致を積極的に運動しては……。  
答弁 お説に関連した法律によると、誘致する手段として団地づくりにより自己資金と公庫借入れの二通りの方法があります。

### 産業関係

質問 今冬の異常寒波による豪雪で、苗代期の遅れが心配されるがその対策は……。  
答弁 このまま順調に消雪が進めば、例年並みの時期につくれ

質問 借入れで造成した方が、評判が良いようですし、議員のみな

# 臨時会

## 収入役（田辺二さん）を再選 大見勝平さん（前助役） 町教育委員に

### 町教育委員に

三月二十九日、臨時の町議会を開き二千四百万円あまりの一般会計補正予算（これで予算総額は、十三億六千六百八十一万七千円になりました）をはじめ、町収入役の選任など九議案が全員賛成で可決になりました。

#### 一般会計の補正予算

歳入では、国から二千三百六十三万円が今冬の豪雪や昨秋の冷害分として、また町道の除雪費補助として五百五十五万円がそれぞれ交付になったほか、町の税収では、九百六万円の増を見込んで計上しました。

- 駐車場の舗装 千三〇〇万円
- 積立金 二千三八六万四千円（これは、経済の低安定成長時代に備荒貯金の立て前から、ピンチを防ぎ、健全財政を維持していくための積立てです）
- 自然休養村センター敷地の買収費 八四六万二千円
- 同右センターのホール備品 二五〇万円
- 冷害対策費 四二万八千円（水稲の種子確保に対し、補助金を交付します）
- 砂利代 二四一万五千元
- 町道へ雪消えと共に、七〇〇立方メートルをひきます
- ブルドーザなどの修繕料ほか 二七六万円
- ブルドーザ借上料 一八〇万円

（町道のうち、町のブルが入れない狭い道路の除雪用です）

○スノーポール 三二万円（雪中道路に立てるポールで百本の代金）

○サイレン設置費 四万五千元（東川にサイレンを取りつけ非常時に備えます）

○排雪機の設置 八十万円（松之山中の屋上に配置し、雪を吹きとばす試みとして導入いたしました）

○償還金の元金 三〇〇万円などです。

#### 財産の取得について

去る昭和四十八年に完成した上蝦池地内の林道敷が個人有であるため、町有財産に変更の手続きをいたします。

#### 国保の補正予算

七百五十一万八千円の補正で、国からの補助金五百五十三万円などが歳入の主流を占め、一方歳出の主眼は、町外の医師などへ支払う診療報酬として八〇〇万円の追加、これに伴って町の診療所会計へ繰出す予定のうち、五〇〇万円を減額しました。

さんと機会をみて先進地を視察した上で、検討してみたいと思います。

#### 道路関係

質問 雪上車、特に豊原時にむかう車に安全確保の点から無線を装備することについて……。

答弁 今年から実はその車について、業者から借りて使用した訳ですが、来冬は発信機だけでも取り付けて安全確保に努めたいと思います。

質問 豊原トンネルと県道の改良が一部地域で遅れているが、今後の見通しは……。

答弁 豊原トンネルは、一億五千万円の予算がつけば、五十五年の開通も夢でないと思うし、月池・松代線と天水越の特一改良についても、昨年の六〇%増ぐらいが見込めると思っております。

#### その他

質問 松之山高校の発展を願う意味から、生徒数が減少をたどる中でどのような対応策を、考えているか。

答弁 小学校の入学児童からすると、五十七年頃までは二学級編成で維持出来ると思いますが、その後については、全員入学しても一学級になってしまうようになります。

みなさん方から特段のご協力を賜りたいと思います。

質問 国保税が高いという声を多く聞くが、なぜこんなに高いのか。

答弁 原因はいろいろありますが、高額療養費と老人医療費の対象者が増えていることと、医療費の値上げなどによると思います。



黒倉分校 育京先生



松之山小 山下先生



川手分校 竹田先生



浦田小 樋口先生



浦田小 小堀先生



浦田小 藤原先生

# 幼児と猫の手は

幼児の水死事故ほど痛ましいものはありません。県警察本部の調査によれば、昨年この事故により死亡した人数は一二二人で、このうち実に三三%が六才未満の幼児です。

## 時期はこれから

### 要注意!!

幼児のうち、農繁期から水泳の時期にかけて発生した事故は、七三%に達しています。

「猫の手も借りたい」農繁期です。この手を借りて子守りをさせることに問題があるのです。

## 危険を知らない

### 幼児たち

幼児にとって、どこが一番危ないでしょうか。

①庭池②川③防火水槽などが大半で、意外な場所に浴槽が一〇%の事故を誘っています。

以上は一例です。幼児と水の仲では、「安全」という名のロープは、極めて弱いものであることを確かめていただきました。

可愛い子供を水から守るには、私たちお互いの注意が、何より必要ではないでしょうか。

毎年、飼犬による事故は増加の一途をたどっています。昭和48年に出来た法律によると、飼犬主が守るべきこととして、

- 犬の健康を維持し、おぼやかしな行動をしないこと。
- 犬の危険性を減らすこと。
- 犬の管理に努めること。
- 犬の安全を確保すること。
- 犬の迷惑を減らすこと。
- 犬の健康を維持すること。
- 犬の危険性を減らすこと。
- 犬の管理に努めること。
- 犬の安全を確保すること。
- 犬の迷惑を減らすこと。

みんなのせいでしなごらぬ



# あなたの犬は

## 医療と住民福祉

明るく健康的な町づくりの第一歩は、医療体制の充実にあることは論をまたないところである。

医師、看護婦、助産婦、保健婦など医療技術者の確保には今までの熱意を持って当るものであり、診療所施設の完備、冬期間の救急体制の強化など住民の生命と安全を守る施策をたゆまず遂行してゆかなければならない。と同時に、予防医学の進歩した今日、疾病予防への一般の関心を高める啓発活動も、一段と強化しなければならぬ。

さらに、町民体育大会を頂点として地区運動会などをも含めて、児童生徒をはじめ老人、婦人青年等、町ぐるみ「体力づくり」を推進していく。

過疎の進行に伴って人口が老令化していることは、六十五才以上人口が総人口の一五四%（昭和五十一年三月三十一日現在）を占めるに至り、全国平均の八・一%（総理府統計局昭和五十一年九月一四日公表）の二倍近くに及んでいるのを見て明らかである。

六人に一人（全国では一二人に一人）の割合で六十五才以上の老人が住んでいることになる。

## 教育の振興へ

新しい芽生え 次代を担う心身ともに健全は青少年の育成を図ることは、両親・家庭・学校・社会の使命であり、自治体の役割はその連携が順調に行われる地域の形成である。

教育は国の大計であり、住民よき社会建設の原動力である。

このような人口の老令化にしたがい老人医療対策の重要性が指摘されているが、一人でも多くの老人たちに長生きをしてもらえるような老人医療、老人福祉対策を進めるものである。

そして家庭や、社会における老人の役割を尊重し、町ぐるみ「老人の生きがい」対策を推進する。

## 新しい芽生え

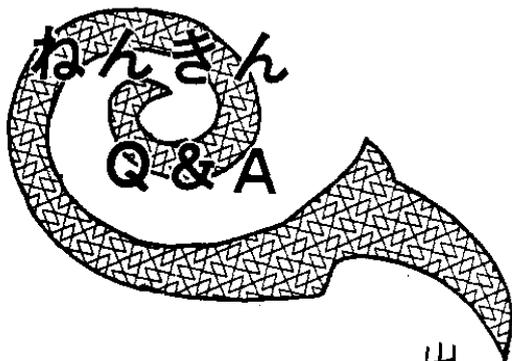
いま、町内の小学校教育の分野において「学校田実習」や「副読本」が教育課程の中にとり上げられ、生々とした息吹きを教育の現場にもたらしつつあることなどはその実践例であり、その教育効果は期して待つべきものがある。

人間形成はその生涯にわたる継続で行われるものであり、生涯の各時期に適切な教育の機会が、町民一人ひとりに等しく確保されることを期するとともに、現在及び将来の社会の形成者として、それぞれが個性や能力を最大限に伸ばし、有為な社会人としての資質を養うのに必要な諸条件の整備を図らなければならない。

● 学校教育 幼児から青年に至る各学校教育段階において、就園就学の機会を拡充整備し、町民すべてが等しく人間形成の基礎を培えるように努めるとともに、その内容を一層充実し、その質的向上を図る。

● 社会教育 社会教育の分野では、教育文化施設の適正配置とその整備によって、あらゆる学習やスポーツなど、充実した人間

# シリーズ 町総合計画 そのII



# 休耕田

## 最高 44000円に

### 水田総合利用の補助金

稲作転換対策にかわり、昨年  
から実施になった「水田総合利  
用対策」(53年度まで)は、2  
年目を迎えました。

補助金の額は据え置きですが、  
改正された点は、大豆、飼料作  
物に転作した場合、1万円の加  
算金が付くことになりました。

10アール当りの補助金は、次  
のようになります。

▶大豆、飼料作物

(44,000円)

▶一般野菜

(34,000円)

▶特認作物

○小豆 (29,000円)

○葉たばこ、花卉など  
(24,000円)

○その他 (24,000円)  
(町単を除く基盤整備事業)

総合利用の実施について、詳  
しくお知りになりたい方は町産  
業課の農政係(電話3131番  
の内線36番)にお訪ね下さい。

## 炭鉱で

### ねんきんを

#### 掛けたが……

問

私は昔、出稼ぎで炭鉱に行っ  
たことがあります。

人の話によると、炭鉱でも社  
会保険に入っていれば、国民年

答

あなたの場合、手続きを済ま  
せたのは国民年金の老令年金で、

金に上のせして年金が、もらえ  
ると……。

この二月に満六十才になり、  
年金をもらう手続きを、役場で  
してきました。

そこで、まだもらって見ない  
ので分かりませんが、私の場合、  
今度もらう年金の中に、炭鉱で  
掛けてあれば、その分も一緒に  
含めてもらえるでしょうか。

(赤倉・村山巳之吉)

六十五才からもらう年金額の五  
八%が、年四回に分けて支給に  
なります。

また、炭鉱で社会保険(厚生  
年金)を掛けていた場合、掛け  
た月数の合計が一二カ月以上あ  
れば厚生年金はもらえます。

そこで、厚生年金が国民年金  
に上のせになるのではなく、そ  
れぞれ別の請求の手続きをとら  
なければなりません。

したがって、年金の支払いも  
別々にそれぞれのところから、  
納付した月数に応じて支払うし

くみになっていきます。

あなたは六十才になりました  
ので、炭鉱で掛けた月数が一二  
カ月以上あれば厚生年金を請求  
できます。

なお、厚生年金は社会保険事  
務所で、また国民年金は町役場  
でそれぞれ請求などを取り扱っ  
ています。

このような請求の手続きを含  
めて、後日開催する「年金相談」  
をご利用下さい。

(住民課・佐藤)



どうだい？痛いかい？  
痛いから、効くんのだよこの薬は…  
すぐ終るから、ガマンガマン  
(松之山診療所で)

性豊かな生活の展開を確保し、  
伝統ある文化の開発創造を目  
指し、住民の学習機会の拡充

に努める。  
児童、生徒の個性や能力を  
最大限に伸長すべく、教育内

容の充実をはじめ諸条件の整  
備を図らなければならない。  
社会教育の分野では文化施  
設の配置によって、青少年が  
学習、スポーツ、交流を樂し  
めるようにする。  
人間性豊かな生活と、伝統  
ある文化の開発と創造を目指  
して、住民の学習機会の拡充  
に努めていく。  
幼児教育、保育は、農村で  
は都市に比較し立ち遅れた分  
野であることは否定できない  
ので、地域の子供たちが等し  
く保育を受けられるよう、保  
育所の配置を積極的に進めて  
ゆく。  
そして時代の要請ともいう  
べき「長時間保育」の実現を  
目指さなければならない。

# 古しり

あなたの家にもきっとあると思います。「家庭常備薬」と印刷した箱。その中身といえば、救急的に役立つ薬品、代表的なものといえば、メンタム・アカチン・カゼ薬でしょうか。

最近、県が行った調査によると、すでに製造中止になった古い薬品が、一般家庭に配置されていたという信じられない話。

△五年位、入れ替えをしていない配置医薬品（家庭常備薬）は、絶対、服用しないこと。

△このような薬品は、まちがいのもとです。他の業者でも積極的に頼んで引取ってもらうこと。

△医薬品に限らず、農薬も含めてその使い方は、説明書などをよく読み、正しく使しましょう。

# 立木とせいきん

みなさんの土地に育っている立木（杉・松など雑木全般）は、固定資産税の算定価格に含まれていません。

伏採したときには売買や自家用を問わず木材引取税が課税になります。

売買の場合、木材を買った人がこの税金を納めます。一方、売った人はこの税金を徴収し、取引内容の申告と併せて町へ納付することが義務づけられています。自家用にした場合、使用した人が納税と取引の申告をしなければなりません。

そこで、徴収は町で行いますから立木を伐採した方は、必ず税務係に申告して下さい。

なお、これとは別に伐採された方には「山林所得」として申告していただきます。

特別控除として、自家用の場合見種価格から、売買の場合販売価格からそれぞれ控除があり、税率も安くなっており、他の所得より更に優遇されています。

50万円が今年の特別控除額ですからこの金額以下であれば、所得になりません。



— 185 —

## 人事

四月一日付

### △異動

竹内義一（浦田診療所事務長  
と浦田支所長を兼務）  
竹内茂俊（浦田支所↓社教へ）  
高橋宏子（松之山小↓総務課  
庶務係へ）

### △新採用



本山 敏雄  
（産業課・農施係）



小林 哲  
（総務課・財政係）



江口 真知子  
（松之山診・看護婦）



村山 恵一  
（松之山小・使丁）

### △退職（四月十六日付）

大見勝平（助役）  
浦井君子（総務課）

## 新婚さん

△村山 正知（坪野・前）  
△村山 好江（東京都）

△小野塚秀一（東川・橋場）  
△高橋ひろ子（中尾・中村）

## うぶ声

高橋 裕美 亀太郎の二女 天水島  
高橋 茂雄 正治の二男 天水島  
石塚 知明 道男の長男 北浦田  
重野 友美 信幸の長女 上鰈池  
和久井寿子 喜良の長女 水梨  
重野 明 勘司の長男 上鰈池  
佐藤 美咲 繁の長女 上の山  
村山 知一 正知の長男 坪野  
高橋 康代 松巳の二女 天水島  
小野塚弥生 修の長女 湯本  
丸山 隆 富雄の長男 藤倉  
相沢 和彦 正平の長男 小谷  
田辺 陽介 広の長男 松口  
田辺 真理 広の二女 松口  
南雲 有子 敏雄の長女 坂中  
山口こずえ 達夫の三女 湯之島  
樋口 和彦 慎次の長男 松之山

## おくやみ

樋口 シサ 兎口 後  
佐藤 キイ 坪野 角や  
浦井喜代次 観音寺 上の端  
福原 ヨシ 中尾 藤ぜん  
本山八十吉 北浦田 沢  
竹内 久作 樋田 前  
小見 武 黒倉 前田  
保坂 重蔵 崩田 へえん  
山岸 昭 (45) 湯之島 平べえ